

平成31年4月19日
海事局内航課**旅客船事業者による航路情報のオープンデータ化が容易に
～ 「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」を作成 ～**

国土交通省海事局は、「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」及び「簡易入力支援ツール」等を国土交通省のウェブサイトにおいて公開いたしました。この標準フォーマットによって、フェリー・旅客船事業者による自社の航路情報のオープンデータ化が容易となり、コンテンツプロバイダ等における航路情報データの共有が推進され、インバウンドをはじめとする観光客等の航路利用の増加が期待されます。

- 現在、交通機関の最適な経路情報はスマートフォンのアプリ等で容易に調べることができる環境となり、また、訪日外国人旅客数の増加をはじめとする我が国の観光振興の潮流と相まって、経路情報の利用が拡大しています。さらに、「MaaS（※）」という新たなモビリティサービス形態が、経路情報の多数の関係者間における共有及び更なる充実に今後ますます促進しようとしています。

マース

(※) MaaS… “Mobility as a Service” の略。出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念。

- このような中、他モードに比べて事業者からの情報発信が遅れているフェリー・旅客船業界における航路情報の整備を支援・推進するため、「標準的なフェリー・旅客船航路情報フォーマット」（別添）を作成するとともに、事業者単独でも比較的容易に情報のデータ化を行えるように「簡易入力支援ツール」及び「作成ガイドライン」をあわせて作成し、国土交通省のウェブサイトで公開いたしました。
- このフォーマットによってフェリー・旅客船事業者の皆様が航路情報をデータ化して積極的に情報発信することで、コンテンツプロバイダの経路検索サイトにおける航路情報の反映が進展するのみならず、航路情報の多言語化対応、地方自治体・DMOにおける同情報の活用など、様々な場面における航路情報の利用が拡大し、インバウンドをはじめとする観光客の航路利用の増加が期待されます。

- フォーマット等は、下記からダウンロードできます。事業者の方々におかれましては、ぜひ積極的なご活用をお願いいたします。

【URL】 http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk3_000061.html

アクセス
QRコード

- フォーマットに関する問合せ窓口

フォーマットの利用について、ご不明な点等がございましたら下記アドレスへご連絡下さい。問合せ先：国土交通省海事局内航課 メールアドレス：hqt-n310328@gxb.mlit.go.jp
※ご相談は24時間受付可能ですが、内容の確認は平日9:30～18:15となりますことにご注意下さい。

【問い合わせ先】 海事局内航課 上野、前田



TEL : 03-5253-8625

FAX : 03-5253-1643